

いちごの重要な病気 その1 炭そ病

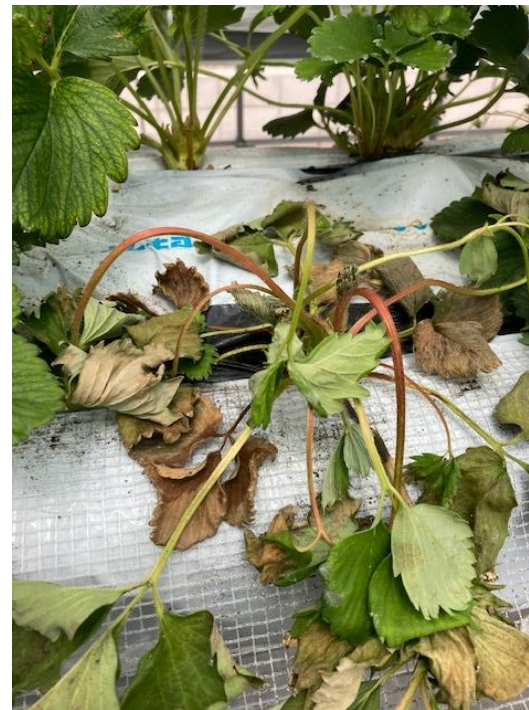
ランナーや葉などに黒っぽい斑点症状が出たり、株全体が萎れたりします。

病原菌は比較的高温で多湿条件を好みます。炭そ病にかかった株から伝染したり、激しい雨などによる**水はね**によって地表面にいる病原菌が株に伝染したりして病気が広がります。特に苗づくりのときに多発しやすいので注意が必要です。

葉に現れた症状



立枯れ症状



いちごの重要な病気 その2 うどんこ病

果実や葉（主に葉裏）などの表面に、**白い粉状のかび**が発生します。つぼみに発生した場合は、花びらがピンク色になることがあります。

盛夏期や厳冬期以外に発生し、胞子が空気中を漂って広がります。

比較的低温でも発生します。夏の暑い時期は発生がないように見えますが、実際は菌が葉裏などに潜み、秋になって気温が下がってくると活動を再開します。

出荷後、果実に発生して、消費者からクレームが来ることもあるので注意が必要です。

実に現れた症状



葉・茎・花弁に現れた症状



いちごの重要な害虫 **ハダニ**類

葉の汁が吸われて**白いカスリ状の斑点**が現れます。被害が進行すると**葉の全体が黄色く**なります。

多発すると**葉や株全体がハダニの吐く白い糸**で覆われたり、被害が激しい場合は枯れてしまいます。

苗からの持ち込みやハウスの外からの侵入が発生の主な原因で、高温で乾燥した時期に発生しやすくなります。古い葉（下葉）の裏にすることが多く、体長が1mm未満なので、**肉眼で見つけることは困難**です。

気づいたときには大発生している恐れもあり、注意が必要です。

白いカスリ状の斑点



ハダニの糸で覆われた葉



いちごの重要な害虫 **ハダニ類**

近年では、ハダニを食べる**天敵**のダニをハウス内に放す**生物農薬**による防除方法もあります。

天敵製剤



病気にかからない・害虫を発生させないためには…

- 古い葉は早めに取り除く。
- 風通しを良くする。
- 雨がかからないようにする。
- 葉の裏や株元など、株全体をよく観察する。

病気や害虫を見つけたら…

- 病気が発生した葉や株は早めに取り除く。
- 殺虫剤や薬剤を散布する。